

はじめの R リデュースしましょう ごみを作らない

3Rの取り組みの中で**最も重要な行動が、リデュースです**。ごみになるものをなるべく買わない、もらわないようにすること、ものをなるべく長く大切に使うようにすることがポイントです。知恵や工夫でごみを減らすことができます。

買い物 必要な量だけ買う。

大量購入は食品ロスにつながりやすいです。必要な量が、一度考えてみましょう。

買い物 余分な包装は断る。

〈例〉包装紙1枚…約5g

買い物 量り売りの商品を利用する。

〈例〉食品トレー1個…約4g

家庭・外出で マイアイテム(マイバッグ・マイボトル・マイ箸など)を持ち歩く。

〈例〉レジ袋1枚…約4g、ペットボトル(350ml)1本…約25g、割り箸1膳…約5g

家庭で 壊れたものは修理して使う。

区ホームページに「修理のお店一覧表」を掲載しています。

2番目の R リユースしましょう 繰り返し使う

リユースとは、例えば一度使ったびんを繰り返し使うことで、ごみにしない行動です。他にもリサイクルショップを利用したり、フリーマーケットを活用したりするなど身の回りにリユースの取り組みがあります。

買い物 使い捨ての商品ではなく何度も使える商品を選ぶ。

リターナブルびん…繰り返し使うびん

不用品 リサイクルショップの活用。

リユース

不用品 フリーマーケットやフリマアプリを利用する。

不用品 必要としている人に譲る。

制服や体操服を有効活用しましょう!

食べきろう! 「食品ロス」はもったいない!

まだ食べることができるのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」といいます。主な発生原因は…

過剰除去

食材の皮の厚むきなど、食べられる部分まで捨てられる

食べ残し

作りすぎや注文のしすぎなど、食べきれず捨てられる

直接廃棄

消費期限・賞味期限切れにより、食べずにそのまま捨てられる

区では食材を使いきるための「食べきりレシピ」や、食べ残し削減に取り組む店舗を「食べきり推進店」として紹介しています。ぜひご利用ください。

江戸川区 食べきり推進運動 検索

生ごみの水切りが効果的です

燃やすごみの約3分の1を占める生ごみは、たくさんの水分を含んでいます。捨てる前に「ぎゅっとひとしほり」するだけで、ごみ減量につながります。

ひとしほり!

エスディーゼズ SDGsに取り組みましょう!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「SDGs:Sustainable Development Goals」とは持続可能な社会にするための開発目標です。2015年9月に国連総会で定められました。すべての人が豊かで、健康で、差別を受けない世界、そして、地球の環境を守りながらみんなが満足して働ける社会を目指す17の大きな目標と169のターゲットが設定されています。目標の達成期限は2030年です。

大きく「経済」「社会」「環境」にかかわる1~16の目標と、17番目にみんなで協力して達成すること(パートナーシップ)がかかげられています。

17の目標はすべての人が当事者意識をもって取り組むことで実現されていきます。例えば、日常生活でレジ袋を断りマイバックを利用する、余分な食品を買わない、食品を使いきる、といった簡単なことがSDGsに繋がります。早速できることから実践してみましょう!